

# 患者図書室“いきいきの森”だより

## お花見の話

お花見の歴史は古く、奈良時代、遣隋使によってもたらされた梅の花を見る文化がその始まりといわれています。平安時代に入り遣隋使が廃止されると、花見の対象は日本に自生していた桜へと変化しました。現在のような花を眺めながら飲食を楽しむスタイルが盛んとなったのは、江戸時代中期のこと。八代将軍・徳川吉宗が奨励したことから、貴族の楽しみだったお花見が庶民の間にも広がりました。

さて、お花見といえばお酒を飲むことも多いですが、飲みすぎは厳禁！ 一気飲みなどの無茶はせず、楽しいお酒で春を満喫しましょう。

## 3月の貸出テーマランキング

### 1位 糖尿病

『糖尿病を自己管理する本：イラスト版』

『糖尿病最新治療・最新薬』他

### 2位 骨・関節・筋肉

『ひざの痛みがとれる本：イラスト版』

『新版 ひざ・腰・肩の痛み』他

### 3位 小児

『患者と家族のための

川崎病Q & A 第4版』他



## 図書の紹介

脳卒中は、がん、心臓疾患、肺炎に次ぐ日本人の死因第4位の病気です。また、重度の後遺症が残ることもある恐ろしい病気ですが、発症後すぐに初期治療を受けることができれば劇的な回復も可能といわれています。肝心なのは、症状が表れたとき適切に対処できること。是非、手に取ってみて下さい。



### 『身近な人が脳卒中で倒れた後の全生活術』待島克史/著

ある日突然、身近な人が脳卒中で倒れてしまったら…。脳卒中患者とその家族が「生きていく」ために必要な情報をすべて盛り込んだ本書は、各種の申請や手続きについての知識が得られるだけでなく、不安の中にいる人にそっと寄り添ってくれる血の通った実用書です。

### 『ゼロからわかる脳梗塞』木村哲也/著

聖路加国際病院が監修する「聖路加国際病院の健康講座シリーズ」脳梗塞対策の決定版。最新の治療法や治療薬の解説、聖路加国際病院ならではの長年の知見に基づいた予防法や病気とうまく付き合うポイントなど詳細に解説。初心者でも安心の一冊です。

